

2005 年度 秋季相互協力連絡会（第 29 回）議事要録

開催日時： 2005 年 11 月 11 日（金）13：00～13：50

開催場所： 北陸大学ライブラリーセンター 4F ソフィアラウンジ

出席校： 30 校 36 名

欠席校： 京都嵯峨芸術大学，京都創成大学，京都薬科大学，種智院大学，成安造形大学，聖泉大学，
高岡法科大学，奈良産業大学，びわこ成蹊スポーツ大学，明治鍼灸大学，
（10 校とも委任状提出）

配付の開催要領に基づき，京都地区協議会相互協力世話人幹事館 佛教大学図書館 瀬澤且博氏より
報告及び説明があった。

【報告事項】

1．出欠状況について

出席者名簿のとおり，30 校 36 名

2．2005 年度相互協力連絡会研修会（第 12 回）について

研修会当番校を花園大学と佛教大学の両校とし，平成 18 年 1 月 19 日（木）に開催する旨，報告が
あった。

3．2005 年度三協定加盟状況について

配付資料[資料 No.1]相互協力連絡会三協定参加状況（2005 年 10 月 31 日現在）のとおり説明があ
り，未参加校の聖泉大学には，再度，次年度参加を要請する旨，報告があった。

また，阪神地区協議会との相互協力協定締結については，次年度協定締結に向け調整中である旨，
報告があった。

4．京都地区協議会 HP の運営状況について

佛教大学の高靖敏氏より，2005 年 10 月 28 日開催のホームページ委員会での検討事項について，
以下のとおり報告があった。

（1）メーリングリストの運用について

京都地区協議会独自で契約使用している，infoseek のメーリングリストを公式・一般共に今期
の契約をもって廃止し，代わりに協会の「www 資源提供サービス」で提供しているメーリング
リストを使用する。運用は公式，一般両方含めた形で一本化する。

（2）ホームページの運用について

ホームページ内に掲示板を設置し，より有効にホームページを利用できるようにする。

（3）次期委員の選出方法について

今後継続して HP・ML を運用していくために，ホームページ委員のメンバー構成について「申
し合わせ事項」を作成し，来年度の京都地区協議会に提案する。

【協議事項】

1. 共通閲覧証の有効期限延長について

配付資料に基づき、以下の提案があり、検討の結果、了承された。

- (1) 共通閲覧証の有効期限を 2006 年度作成分から 5 年とする。
(有効期限 2006 年度～2010 年度)
- (2) 印刷枚数に関しては、従来どおり各校 20 枚を配付できる枚数とする。
- (3) 2010 年度に共通閲覧証協定と有効期限を検討する。

2. 資料分担保存協定について

配付資料に基づき、世話人会資料分担委員校 立命館大学 鳥井真木氏より提案説明があり、見直し作業を行い、2007 年から新たな『資料分担協定』を運用するために、アンケート調査を実施することを了承した。

3. その他

(1) 相互協力連絡会研修会の見直しについて

近畿イニシアティブの能力開発専門委員会を視野に入れ、現在の研修会を見直したいとの提案説明があり、世話人館案を作成した上で、相互協力連絡会で審議することを了承した。

(2) 相互協力連絡会世話人館・委員館の分担ローテーションについて

配付資料[資料 No.3]に基づき、確認した。

【承合事項】

なし

以上